

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	術前化学療法の治療成績とHR+/HER2-乳癌症例のmIHC-RSによる予後予測
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	佐藤祥子
研究期間	2025年6月 ～ 2026年7月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2025年6月10日）
対象者	2006年1月から2023年12月までに当院で乳癌に対して術前化学療法を行った方
当該研究の意義・目的	<p>術前化学療法は手術可能乳癌に対して広く行われており、術前化学療法後の残存病変に基づく治療選択が標準化されています。また、一部のサブタイプ*1では病理学的完全奏功*2が予後予測因子と考えられています。そこで、サブタイプごとの術前化学療法の成績を明らかにします。また、ホルモン陽性HER2陰性乳癌の症例においては、mIHC-RSスコア*3が術前化学療法の謳歌に影響するかを検討します。</p> <p>*1 癌細胞の遺伝子の特徴やタンパク質の有無によって分類した乳癌のタイプのこと</p> <p>*2 癌があった部分に針生検を施行し、標本上癌が消えていること</p> <p>*3 治療前の針生検の病理組織診断におけるホルモンレセプター発現状況やKi-67から算出します</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別、閉経状態 など）・手術情報（術式など）・臨床データ（画像、病理、血液検査結果など）・術前化学療法情報・再発の有無 など
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	<p>◆その他、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立総合病院 乳腺外科 佐藤祥子</p>

代表 054-247-6111
